



2つのキャンパス。新年度も活発に

検索しても出ない答えがここにある

高野山大学

86



講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

- 【講師派遣お申込み手順】
1. 高野山大学公式ホームページの[高野山大学の概要]「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申込みください。
  2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。  
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

- 【注意事項】
1. 講演料(手取り額)  
60分 ¥20,000  
90分 ¥30,000  
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
  2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
  3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
  4. 大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。  
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。



こちらのQRコードからもアクセスできます。>>

<http://www.koyasan-u.ac.jp/info/dispatch>

寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や学習・就職支援室の運営などをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

頂戴いたしました寄付金は  
○大学の設備・備品費などの諸経費 ○地域との連携事業の経費  
○学習・就職支援室の活動費  
などに用いさせていただきます。  
高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、「魅力ある大学づくり」をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。  
皆様におかれましては、高野山大学への引き続きのご支援をこそよりお願い申し上げます。  
この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。  
ご連絡をいただきました方には、大学から、  
○寄付申込書 ○寄付金用振替用紙 ○返信用封筒  
をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。  
皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】  
今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。

2023年度 入学者選抜概要(2022年内の日程)

選抜(入試)日程(密教学科・別科) ※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜Ⅰ期(一般・寺院後継者)	令和4年9月16日(金)～10月10日(月)消印有効 事前説明会6/30(木)～9/29(木)	10/22(土)	11/1(火)
総合型選抜Ⅰ期(書道)			
社会人選抜Ⅰ期	令和4年9月16日(金)～10月10日(月)消印有効	11/19(土)	12/2(金)
学校推薦型選抜(併設校)	令和4年11月1日(火)～11月14日(月)必着 指定校は消印有効		
学校推薦型選抜(指定校)			
総合型選抜Ⅱ期(一般・寺院後継者)	令和4年11月4日(金)～11月21日(月)消印有効		
総合型選抜Ⅱ期(書道)	事前説明会10/1(土)～11/11(金)	12/4(日)	12/9(金)
編入学選抜Ⅰ期	令和4年11月4日(金)～11月21日(月)消印有効		
社会人編入学選抜Ⅰ期			
留学生選抜Ⅰ期/留学生編入学選抜Ⅰ期			
別科選抜Ⅰ期			

選抜(入試)日程(教育学科) ※合格発表は本人宛郵送。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜Ⅰ期(体験課題型)	令和4年9月16日(金)～10月10日(月)消印有効	10/23(日)	11/1(火)
総合型選抜Ⅰ期(オープンキャンパス参加型)		—	
社会人選抜Ⅰ期		10/23(日)	
編入学選抜Ⅰ期			
社会人編入学選抜Ⅰ期	令和4年11月1日(火)～11月14日(月)必着 公募制は消印有効	11/20(日)	12/2(金)
学校推薦型選抜(指定校・併設校)			
学校推薦型選抜(公募制)			
総合型選抜Ⅱ期(体験課題型)	令和4年11月4日(金)～11月21日(月)消印有効	12/4(日)	12/9(金)

大学院(通学制)選抜(入試)日程 ※密教学専攻、仏教学専攻

通学制	出願期間	試験日	合格発表
大学院選抜Ⅰ期 修士課程(博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース) 博士後期課程	令和4年8月26日(金)～9月16日(金)消印有効	9/24(土)	9/30(金)

大学院(通信制)選抜(入試)日程 ※密教学専攻

通信制		出願期間
大学院選抜Ⅰ期(通信教育課程)		令和4年7月15日(金)～7月25日(月)消印有効
一次審査発表	二次面接	二次合格発表
8/25(木)	9/24(土)	9/30(金)

試験の詳細は  
大学ホームページから>>



日本とインドの国交樹立70周年を記念し、友好の証としてインド政府から本学に仏像が寄贈され、3月30日に松下講堂黎明館で仏像の奉迎式が行われました。

日本とインドは1952年に国交を樹立。また和歌山県はマハーラーシュトラ州と2013年に覚書を締結しています。本学には同州政府から贈られたインド憲法の起草者であるビームラーオラムジーアンベードカル博士の銅像が建立しており、アンベードカル博士の誕生日には駐日インド大使や総領事が訪れ、銅像に献花するなど交流が続いています。

寄贈された「釈迦牟尼像」はブロンズ製で高さ約1メートル。式典にはサンジェイクマール・ヴァルマ駐日インド大使とグンジャン・ヴァルマ令夫人、金剛峯寺より桐生俊雅国際局長らが参加され、ヴァルマ大使と添田学長が仏像を除幕しました。

その後、添田学長からヴァルマ大使に感謝状と記念品が贈られ、添田学長は「真言宗はインドの文化が色濃く残っている宗派。日本とインドの国交樹立70年の節目に、このようにして仏像がいただけたことは光栄です」、ヴァルマ大使は「仏教は高野山大学とインドを結ぶ共通の糸。インドを代表して、仏像を寄贈できることをうれしく思います」



とあいさつしました。

式典後には講演会が開かれ、ヴァルマ大使は「日印関係の強化」の演題でインドと日本のパートナーシップの成長や情報通信技術、医療などの新しい分野での連携、人的交流など今後の両国の結びつきについて語りました。

## インド政府より仏像が寄贈されました ヴァルマ駐日大使を迎え奉迎式挙行

本校の加行道場「大菩提院」にりら創造芸術高等学校(以下りら)の生徒がデザインした御朱印ができました。

御朱印は普段から大菩提院で活動している行道部が発案。りらで「コミュニケーションアート」を受講する生徒に作成を依頼し、昨年5月ごろからプロジェクトが始まりました。

作成にあたり、りらの生徒は実際に大菩提院を訪れ、護摩祈祷に参列。行道部の学生から本尊である不動明王の逸話や加行の体験談などの話を聞き、御朱印に使う紙の材質やデザインに入りたい要素などアイデアを出し合い、話し合いを重ねながら7種類の案を作りました。

デザインは本学のSNSなどで募った意見も参考に選考され、御朱印は小野澤麗(うらら)さん(当時3年生)、印は南光麻菜さん(当時3年生)のデザインが採用されました。また、「不動明王」の筆手本は本学卒業生の池田實慎さんによる作成です。

御朱印中央の印面には、蓮の上には不動明王が背負う炎と鳥(迦楼羅炎)が描かれており、「不動明王」の文字と印面が一体となって、蓮の上に不動明王像が鎮座する姿を表現しています。また左右には「高野山大学」と「大菩提院」の印が押されます。

3月11日に大菩提院で開催したお



## 大菩提院に御朱印ができました

披露目会では行道部の学生が出直し、この日で発生から11年となった東日本大震災の追悼とともに両校の平穏を祈り、御朱印の開眼供養、護摩祈祷を執り行いました。今後、御朱印は大学行事の際に参拝者に授与する予定です。

# 高野山大学2022 オープンキャンパス

高野山キャンパス(密教学科)

8/25(木)、9/11(日)  
※9/11はweb開催

河内長野キャンパス(教育学科)

8/7(日)、8/21(日)  
10/22(土)、12/18(日)  
3/18(土)

難波サテライト教室(社会人向け)

10/23(日)、1/22(日)  
2/19(日)

入試や学科に関する説明の他、体験講義や相談会を行います。各日程とも事前申し込みが必要です。保護者の方、お友達とも一緒に参加いただけます。詳細は随時HPでお知らせします。  
※日程は変更となる場合がございます。



## 母校NOW



高野山大学 学長  
添田 隆昭

令和4年度、密教学科の入学生が30名になりました。寺院徒弟が12名、一般家庭出身者が18名です。実は、平成27年に30名の入学定員が定められて以来初めてのことでした。令和2年には12名しか入学されず、大きな危機感を持って学生募集に取り組んできたことの成果が現れ始めたと言えそうです。社会人向けの編入学を勧めたこともあり、密教学科は収容定員の93%を満たしております。

ただ、新設の教育学科は50人の定員に対して昨年は11名、本年は20名と苦戦しております。小学校の教育現場が「ブラック」であるとの風評が定着し、各地の教員採用試験の倍率が3倍を切れば、良い先生が集まらないと文科省が危機感を募らせているといわれていますが、小学校教育こそが国力の根幹であり、その重要性は不変です。本学の教育学科は、密教に基づく宗教教育と、教壇に立った時に直面するであろう問題にたじろぐことのない人間力を培うカリキュラムを用意しております。寺院後継者も2名在籍し、加行等も履修できるように配慮しております。

コロナ禍で途絶えておりました海外からの留学生も、卒業し帰国した院生等をネットワークの核として対応してまいります。

経営そのものは楽観を許しませんが、母校は頑張っていることをお知らせください。

## 表現活動を支える 音楽的アプローチの研究



教育学科准教授  
植田 恵理子

教育現場における「子どもの表現活動を支える音楽的アプローチ」が、私の研究テーマの一つです。教育要領等で目標とされている「表現力」育成の環として、保育や教育現場で行われる音楽活動を、どのように展開していくことが必要であるのか、そのために必要なプロセス・方法を探っています。現在の教育現場では、様々な立場の子どもがクラスに混在しており、協同的な表現活動、個々の表現を保証する環境構築は大変困難な状況にあります。子ども一人ひとりが、活動の中で友だちと表現し合うことを通し、新たな発見や学びを得るために必要なアプローチの探求は、喫緊の課題だと考えます。

のイメージを集団の表現活動に生かし、一緒に活動を推し進めていきました。この活動のように、子ども達が「考える、工夫する、提案する、友だちの表現を見て自分の表現方法を変化させる、協同して活動を展開する」ためには、子ども主体の活動を基にした教員側の様々なファシリテート、アプローチ方法が必要であると考えます。

音楽を使った表現活動は、子ども達が自身の様々な能力に気づく、その中で生活の中で豊かに展開する、集団の中で生かすことを無理なく育むと考えます。今後の教育に携わる方には、子どもの表現活動を支えるための音楽の意味、表現活動の展開とプロセスを学んでほしいと思いつつ、研究を進めています。



## 教育学科の授業風景

### 教員採用試験対策講座

教育学科では、1年次から教員保育士採用試験対策講座を実施しています。学生の基礎学力の向上はもちろん、教師（小学校教員・幼稚園教員・保育士）としての意識を高めるために早期から取り組んでいます。

講座への参加は強制とせず、教育者とは自らが進んで学びに向かう姿勢が大切であることを知ってもらうために学生の自主性に任せています。ただ学生に丸投げするのではなく、大学教員も学生たちの意識を高めるための働きかけを行いながら採用試験対策講座の実施を進めている状況です。

第1タームでは教育史について3回、国語科内容（筆順・四字熟語）について2回、外部講師による講話の計5回を実施しました。四字熟語の読みから漢字を板書に起こす授業では、筆順や字を綺麗に板書する方法を学んだ学生たちが正しい書き順、そして丁寧に書くことを心がけて板書していました。

今後は1、2回生の英検®、TOEIC®、TOEFL®集中特訓、音楽実技の個別指導、身体能力を高める体育実技も続き、学生たちが将来教職に就き、輝けるよう支援します。



### 創作研究

シラバスを読まずに紙芝居・絵本作り・創作劇と聞くと、どんな科目を想像しますか？想像力を働かせ、手先を器用に使い、絵が上手く描け、声色を使いこなせばよいので、楽勝の講義であると思ってしまうでしょう。しかし数ある講義の中でも本講義は最もハードな内容を有するもの一つかもしれません。

なぜなら母語習得の基盤となる時期、また第二言語習得の音声における敏感期(sensitive period)である児童に、教員保育士として将来携わるためには、児童の言語発達の過程をまず理解したうえで、童話文法、英語での口語・文語表現、物語を展開する修辭構造、児童に伝えるための効果的なプレゼンテーションの仕方、実技の前に座学で学ぶことが必須になります。体験や創作は充分な座学を経て、やっとその実践や活動に着手できるものです。

学習者の言葉を借りれば「チヨキチヨキペタペタ」の共同での作品づくりを見ていると、学習内容をメンバーで確認しながら、キラキラした眼で、若く尽きることはないイマジネーションを存分に発揮しています。本講義は、2022年度から大阪千代田短期大学との連携講義としての位置づけられています。英語科としての「創作研究」が、両校の学習者にとって何にも代え難い講義になるようにと力を注いでいます。



## 南山(高野山)教学の研究



密教学科准教授  
北川 真寛

高野山は紀伊山地の深い山々に囲まれ、京都の南に位置することから、古来より「南山」と言い習わされてきました。周知の通り、近年では平成六年に世界遺産に登録され、平成二十七年には開創二〇〇年を迎えるなど、日本仏教を代表する信仰の聖地であります。

そんな南山には、修行と学問の道場という、もう一つの顔があります。(加行や(灌頂)といった僧侶(阿闍梨)となるための修行プログラムはもちろん、弘法大師空海の思想や真言密教のおしえを学問研鑽する(南山教学)が、現在でも受け継がれています。

私が研究テーマとしている南山教学とは、大師を出発点として、そのおしえを高野山において深化させたものです。そのため南山教学は、大師以来の学問の蓄積を誇る一方、それを法会として実践することで、単なる机上の空論ではなく、現代でも生き続けているおしえとなっております。そしてその実践として行われているのが(論義)なのです。

論義とは、さまざまな教説や教義上の問題について問答を行い、密教に対する理解をさらに深めようとするものであり、それが儀式・法会ともなっています。つまり論義は伝統的な学修システムであり、自宗の僧侶たちに自宗のおしえとはいかなるものか、どのように解釈すべきかを教えるために、一種のディベートとも呼べるスタイルで行われています。

その代表的な法会が(勸学念や(堅精)という法会ですが、高野山ではこれを現在でも毎年行っています。またこのような学問研鑽のために行われる法会のみならず、御法楽として毎月論義が行われる(月並問講)もあります。

そしてこれらの論義では、独特の言葉使いや作法を用いて、難解な教義だけでなく、現代にも通じる問題が論じられています。そのため、論義などの形で残された伝統教学を研究し、先師たちに学ぶことで、現代の諸問題に対応するための指針を模索することにもつながっていくのです。



問答を行う法会の一つである(堅精)

## 郭欣儀さん(密教学科)が日本語スピーチコンテストで入賞しました

昨年12月11日に行われた「第19回学長杯 留学生による日本語スピーチコンテスト」(主催：国立大学法人和歌山大学研究グローバル推進機構国際連携部門)において、密教学科の郭欣儀さん(3年生)が2位に入賞しました。

スピーチコンテストは和歌山県内で学ぶ外国人留学生、日本に未入国の留学生ら15人が参加し、オンラインで開かれました。

郭さんのスピーチのテーマは「生かせいのち」。ひらがな、カタカナ、漢字を使い分けることで変わる日本語のイメージと「生かせいのち」に込められた意味について発表しました。子どもの頃の体験が原因で、人前でのスピーチは苦手だったという郭さん。日本語の授業でコンテストを勧められ、苦手を乗り越えようとして参加を決めました。テーマは大学入学前に高野山を訪れた時、駐車場の看板に大きな文字で書かれた「生かせいのち」という言葉がきっかけ。入学後も講義や質問を通して言葉の意味を調べ、今回のスピーチで発表しました。

最初に書いた原稿は日本人の友達に見せたところ「これはレポートで、人に話すための文章ではない」と言われ、日本人にも留学生にも聞いてもらえる原稿になるよう心掛けながらその後何度も書き直しました。

## 地元橋本市で頑張るりょうこう先生 卒業生 島田凌弘さん

島田凌弘さん(2018年度密教学科卒)は、和歌山県の橋本市立橋本中央中学校で和歌山の教諭をしています。

高校生の時はインターンシップで訪れたFMはしほと(コミュニティFM放送局)のパーソナリティを務め、有志による「輝北応援の会」を立ち上げて地域の魅力を伝えてきました。

学生時代は学友会に所属して学園祭運営局長として活躍し、持ち前の行動力を買われて本学の学生広報も担当されました。在学中に中学・高校の国語科・宗教科の教員免許を取得。卒業後は母校で講師として勤務した後、教



員採用試験に合格し2021年度に橋本中央中学校へと赴任しました。一方で、僧侶として奈良県にある月見寺の住職を務めており、教師と住職の二刀流ともいえる生活を送っています。

生徒からは「りょうこう先生」の愛称で親しまれている島田さん。生徒たちには故郷を大切にしてほしいとのことでした。これからりょうこう先生のご活躍を本学は祈念しています。



奥山教授最終講義  
「椰子と雪山―私的回顧と展望」

密教学科の奥山直司教授の最終講義「椰子と雪山―私的回顧と展望」が1月25日に高野山キャンパスの第三会議室で行われました。

奥山教授は、チベットとマラヤの仏教や南方熊楠、本学図書館所蔵の洋書コレクション「ゴルドン文庫」寄贈者であるゴルドン夫人などに関するこれまでの調査研究、中国やインドなど各国での交流について振り返り、「南方熊楠やゴルドン夫人も旅が好きでなりました。何かを求めて遠くまで行き、出会ったことのない人に会う、そんな体験を持った人を追いかけて追体験することが、研究を進める上での情熱につながっているように思います」と述べました。

現在研究に取り組んでいる明治時代にインドへと渡った留学僧たちについても、日本の近代仏教の変遷や留学の経緯、最初に渡った8人の留学生のその後などについて紹介しました。

最後に自身のこれからの展望はまだ白紙。過去と現在について話をしましたが、やはり今を生きたいということしかないと思います。これからは楽しい学問をしていきたいですね」と話していました。



令和3年度学位記授与式  
令和4年度入学式

令和3年度学位記授与式を3月15日に松下講堂黎明館で挙行了しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため出席者を最小限として実施し、来賓として高野山真言宗宗務総長の今川泰伸学園理事長にお越しいただき、教職員と卒業生のみで行いました。今年卒業生は密教学科20名、人間学科9名、別科2名、大学院修士課程6名、博士課程3名、大学院通信教育課程8名でした。

令和4年度入学式は4月6日に松下講堂黎明館で挙行。こちらも感染症対策のため、式典は最小限の人数で行いました。新入生を代表し、密教学科の木村観音さんが「綜芸種智の理念を糧として、人格の陶冶と学問の探求に励むことを誓います」と宣誓しました。本年度の新入生は密教学科30名、教育学科20名、3年次・社会人編入19名、大学院修士課程5名、博士課程3名、大学院通信教育課程32名となりました。



宗教教育行事

【教職員・先輩物故者追悼法会】令和3年12月21日に松下講堂黎明館において本学教職員並びに先輩物故者追悼法会を執り行いました。これまでの本学教職員と先輩物故者の追善菩提、学内の平穏と学生たちの学業成就を祈念しました。法会は壇上に過去帳と位牌を安置し、中曲理趣三昧にて勤めました。その後奥之院御廟と大学墓所に参拝し、書道部員が書いた角塔婆を建立しました。

【春季集団加行】男子は2月4日から3月31日まで真別処圓通律寺で春季集団加行が行われる予定でしたが、コロナウイルスの影響により中止となりました。入壇希望者の男子2名については、夏季加行に入壇することとなりました。

【集団得度式】高野山学園の集団得度式を5月25日、総本山金剛峯寺で執り行いました。葛西光義管長殿下に戒師をお勤めいただき、受者は臨席の本山内局、大学高校の職員に見守られる中で剃髪、如法衣の授与の後、戒師より戒を授かり出家しました。今年度の本学関係受者は女子1名でした。

【受戒】6月7日から6月9日まで、真別処圓通律寺にて受戒が開壇されました。内海照隆法印御房に戒師をお勤めいただき、受者は仏名会を修し、戒師より戒を授かりました。今年度の本学関係の受者は5名(教員1名、1回生1名、2回生1名、3回生2名)でした。



新任教員紹介



密教学科 北川 真寛 准教授  
密教学科 菊谷 竜太 准教授  
教育学科 八木 英二 特任教授

令和4年度役職紹介

高野山大学  
学 長 添田 隆昭  
副学長 松長 潤慶  
副学長 岡本 正志  
大学院委員長 前谷 彰  
研究所長 佐藤 隆彦  
図書館長 南 昌宏  
学校法人 高野山学園  
法人本部長 芝田 啓治  
事務局長 山口 文章  
顧問 乾 龍仁

日 録 令和4年1月～6月

3月				2月				1月				4月				5月				6月															
30	24	22	19	28	23	19	17	4	3	20	11	31	30	29	25	6	5	4	3	30	29	28	25	11	7	6	3	26	21	19	18	15	13	12	11
水	木	火	土	土	水	土	木	金	木	木	火	日	火	水	木	金	木	水	火	土	金	木	水	日	火	水	木	日	土	水	月				
元日 成人の日 授業再開 修士論文提出期限(高野山) 卒業論文提出期限(高野山)	後期授業終了(高野山) 春季休業開始 総合型III期一般前期・社会人選抜(密教) 一般I期・社会人選抜(教育) 留学生・留学生編入II期選抜 建国記念日 後期成績通知 修士論文口述試問(高野山) 再試験願提出日(高野山)	再試験・追試験日(高野山) 大学院通信後期選抜(一次面接) 博士論文審査(高野山) 卒業論文口述試問(高野山、22日) 天皇誕生日 WEBオープンキャンパス(難波)	一般II期選抜(教育)・大学院後期選抜 後期成績通知(河内長野) 再試験受付開始(河内長野)	卒業・修了者発表 再試験・追試験日(河内長野) 通信春期研究発表会 一般中期・編入中期・社会人編入中期 別科II期選抜(密教) 一般III期選抜(教育)	社会人編入中期選抜(難波) 学位記授与式 オープンキャンパス(河内長野) 春分の日 総合型IV期一般後期・編入後期・社会人編入後期選抜(密教) 社会人編入後期選抜(難波) 学年末成績通知(高野山・難波・河内長野) 一般IV期選抜(教育) 一般V期追加選抜(教育)	オリエンテーション(難波) 入学式 導入研修・オリエンテーション(高野山・河内長野、8日) 前期授業開始(高野山) 1ターム講義開始・地域体験発表(河内長野) 履修登録期限(河内長野) 受講科目提出期限(高野山) 履修登録科目確認開始(河内長野) 報恩日 履修登録科目変更期限(河内長野) オープンキャンパス(河内長野) 授業時間割確認開始 昭和の日 WEBオープンキャンパス(高野山) WEBオープンキャンパス(河内長野)	開校記念日 臨時休業 憲法記念日 みどりの日 こどもの日 前期・通年科目取り消し期限(河内長野) 卒論・修論題目提出期限 学園得度式 オープンキャンパス(河内長野) 同窓会総会 前期・通年科目取り消し期限(高野山) 青葉祭 2ターム講義開始(河内長野) 宗祖降誕日 オープンキャンパス(河内長野) WEBオープンキャンパス(高野山) 通信学習支援会 報恩日 進学説明会(田辺会場)	前期・通年科目取り消し期限(高野山) 卒論・修論題目提出期限(河内長野) 学園得度式 オープンキャンパス(河内長野) 同窓会総会 前期・通年科目取り消し期限(高野山) 青葉祭 2ターム講義開始(河内長野) 宗祖降誕日 オープンキャンパス(河内長野) WEBオープンキャンパス(高野山) 通信学習支援会 報恩日 進学説明会(田辺会場)																											

社会人対象 密教文化コース  
2023年度開設に向け準備中

密教学科では、2023年度より新しく「密教文化コース(3年次編入学)」を開設します。本コースは密教の学びに興味があつても、様々な理由で高野山キャンパスへの通学が困難な社会人を対象としています。  
当コースでは講義を対面、ライブ配信、オンデマンド配信の3形態で受講することができます。大学院への進学を目指す人や、密教について勉強するのが初めてという方も基礎からしっかりと学べるカリキュラムを展開する予定です。  
出願方法、開講科目などは今後ホームページや募集要項などで随時お知らせ予定。今後社会人の方を対象にしたオープンキャンパスも開催します。

寄付金御礼

(2021年11月～2022年5月) \*順不同

- 紺田 昌隆様 一百万円
- 川口 道雄様 百万円
- 鐘ヶ江 尊明様 十万円
- 佐伯 慈海様 五十万円
- 高野山大学 同窓会様 三十万円・二十四万二千円
- 高野山住職会様 百万円・百万円・三百万円

全国の皆様から寄付金を頂戴いたしましたこと心から感謝申し上げます。大学の教育・研究活動に有効に活用させていただきます。今後とも、引き続き皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

メールアドレスの登録にご協力ください

高野山大学では、同窓会員や卒業生の皆様にメールアドレスの登録をお願いしています。登録いただいた皆様には、入試やオープンキャンパスをはじめとした学内行事の情報を不定期でお送りします。メールは下記のQRコードから作成、送信いただけます。 ※いただいた内容は大学から皆様への情報発信のみ使用させていただきます。

